

ビジネスハイライト

半期のニュースをお知らせします。



洋上変電所

英国で海底送電資産の運営事業権を取得

地球環境・インフラ事業グループ

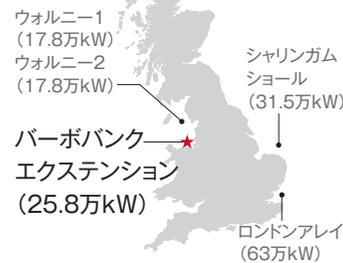
2017年7月、英国で5件目となる海底送電資産の運営事業権を在英國の当社100%子会社Diamond Transmission Corporation Limited (DTC)社を通じて取得しました。本件は、英国北西部沖合約25kmの洋上に位置するバーボバンクエクステンション洋上風力発電所(発電容量25.8万kW)と、北ウェールズ・デンビーシャー州に建設予定の変電所を結ぶものです。資産規模は約262億円で、2017年末をめどに操業を開始し、事業パートナーとともに20年にわた

て送電を行う予定です。今回の取得に伴い、三菱商事は欧州で9カ所、総送電距離約900km、総送電容量約435万kWの海底送電事業を運営することになります。

DTC社は、今後も海底送電資産のさらなる積み上げを目指すほか、陸上送電線事業、国際連系線事業などへの進出も検討しています。

三菱商事は、温室効果ガスの排出抑制につながる事業機会を通じ、経済面のみならず環境面や社会面への貢献を実現していきます。

英国で三菱商事が参画している海底送電事業



DTC社

欧州海底送電事業を担う統括会社として2013年に設立。資産の保守管理業務を担う専門チームを擁し、海底送電資産の運営に携わっています。

バングラデシュ初の都市高速鉄道を受注

地球環境・インフラ事業グループ

2017年8月、バングラデシュで初めて建設される都市高速鉄道(MRT)向け車両144両と



ダッカMRT6号線車両のイメージ

車両基地設備を、川崎重工業と共同で総額約400億円で受注しました。三菱商事は、一部車両基地設備の供給と商務事項の管理を担当します。

今回受注したMRT6号線は、首都ダッカの中心地を南北に結ぶ全長約20km、16駅で構成する全線高架の路線です。ダッカでは、人口増加に伴う交通量の増大により、慢性的な渋滞が

社会問題になっています。本件は、道路交通からの交通手段の転換を促し、渋滞緩和による都市利便性の向上、経済損失の解消、さらに温室効果ガスの削減に資すると期待されています。今後も、同国での鉄道車両ビジネスを積極的に展開するなど開発途上国での鉄道整備を通じ、経済および社会の発展に貢献していきます。

農薬の登録・製造・販売のための合弁会社を設立

化学品グループ

2017年9月、三菱商事は全国農業協同組合連合会(JA全農)と農薬の登録・製造・販売を行う合弁会社の設立に合意しました。両社50%ずつ出資し、11月に新会社ZMクロッププロテクションを設立しました。2018年度からの営業開始を予定しています。

三菱商事では、拡大する食料・農業資材需要に応えるべく、

インドや中国における農薬の受託製造機能や国内外における販売事業に取り組んでいます。

新会社では、JA全農の強みである「研究開発機能」「登録機能※」と、三菱商事の強みである「製造機能」「海外ネットワーク」との相乗効果を発揮し、2021年をめどに100億円の事業規模を目指します。このスケールメリットを活かし、農薬価

格の低減を実現することで、日本の農業の競争力強化に貢献していきます。



※農薬を製造・販売・使用するための許認可を取得する機能。安全性や効果を実証するさまざまな試験データを整備するため、高い専門性が求められる。



産業用施設のイメージ

産業用施設の開発・大規模改修事業に参入 ～事業会社向けCREサポート～

新産業金融事業グループ

三菱商事と100%子会社の三菱商事都市開発は、事業会社が使用する産業用施設の開発・大規模改修事業に参入しました。千葉県内の冷凍冷蔵倉庫兼加工センターを主要用途とする産業用施設2件を取得し、大規模改修を行います。その総事業費は、テナントの設備投資も含め約100億円になります。本事業は、三菱商事として初の特定用途の産業用施設に対する大規模改修を含めた開発事業となり、不動産業界でもユニークな取り組みです。

昨今、ROA/ROEを重視する経営の浸透や、業界再編・経営合理化に伴う拠点再構築ニーズなどを背景に、企業が保有する不動産(CRE※)の有効活用戦略を

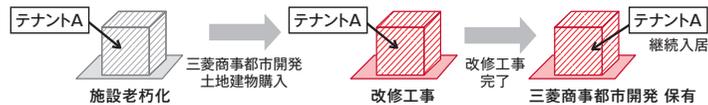
重視する動きが高まっています。三菱商事では、総合社ならではの広範な企業ネットワークを駆使し、CREのさまざまな課題に対する最適なソリューションの提供に積極的に取り組んできました。

今後もその強みを活かし、事業会社向けCREサポートを一つの柱として、不動産開発事業のさらなる拡大を図っていきます。

※CRE:Corporate Real Estate

スキーム概要

第1号案件 (テナント継続入居)



第2号案件 (新規テナント向け改修)



	【第1号案件】	【第2号案件】
所在地	千葉県市川市	千葉県市川市
敷地面積	約17,300㎡	約3,300㎡
建屋延床面積	約27,600㎡	約5,100㎡
主要用途	冷凍冷蔵倉庫兼加工センター	冷凍冷蔵倉庫兼加工センター

豪州ウィートストーンLNGが生産開始

エネルギー事業グループ

2017年10月、日本郵船、JERA、JOGMECとともに参画している豪州ウィートストーンLNGプロジェクトにおいて、LNG(液化天然ガス)の生産を開始しました。

今回の生産開始はLNG生産設備第1系列からのもので、西豪州北西部沖合のウィートストーンおよびイアゴガス田から産出される天然ガスが用いられています。現在、第2系列の建設

作業が進行中で、第2系列の完成後は両系列合計で年間890万トンのLNGが生産される予定です。

人口増加に伴う世界的なエネルギー消費量の増加傾向や、地球温暖化への対応として、クリーンなエネルギー資源である天然ガスの需要は世界的に高まっています。こうした中、本プロジェクトは日本にとって重要な供給源となるばかりでなく、官民

一体となったエネルギー資源の確保という点でも大きな意義があります。三菱商事は今後も引き続き、日本へのエネルギーの安定供給に貢献していきます。

プロジェクトの位置図(豪州)



洋上プラットフォームの様子